

全国企業短期経済観測調査結果（16/3 月）
岩手県

1. 業況判断

業況判断 D.I. : 「良い」と回答した企業の社数構成比 「悪い」と回答した企業の社数構成比

(1) 現状および先行き予測

企業の業況判断をみると、製造業・非製造業ともに改善し、全体では 10%ポイントの改善（前回 - 12%ポイント 今回 - 2%ポイント）となっており、企業の業況観が引続き好転していることが窺われる。

先行きについては、製造業、非製造業とも総じて慎重な見方をしており、悪化を予測している。

(2) 業種別動向

業種別にみると、製造業においては、加工業種のほか、素材業種でも好転し、製造業全体では 14%ポイントの改善（前回 24%ポイント 今回 38%ポイント）となり、景況感を一段と強めている。先行きについては、電気機械が好転を見込むほかは、総じて慎重な見方となっている。

非製造業では、卸・小売業を中心として全体では 9%ポイントの改善（前回 - 39%ポイント 今回 - 30%ポイント）となっているが、なお「悪い」超幅が大きく、製造業と非製造業の格差が拡大している。先行きについては、建設業を中心として悪化を予測している。

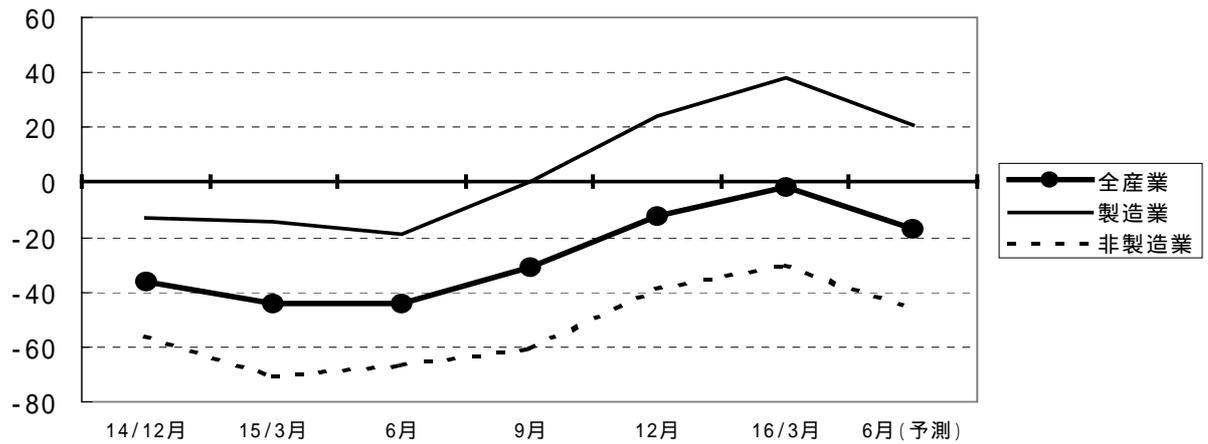
（業況判断 D.I. 「良い」 「悪い」） 回答企業数 製造業 24 社、非製造業 33 社、計 57 社。

（回答社数構成比、%ポイント。（ ）内は前回予測。以下同じ）

	14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
全産業	-36	-44	-44	-31	-12	-2 (-22)	-17
製造業	-13	-14	-19	0	24	38 (4)	21
素材業種	-75	-40	-75	-25	-25	25 (-25)	0
加工業種	0	-6	-6	5	33	40 (9)	25
うち食料品	0	0	-17	-17	17	17 (17)	0
電気機械	0	0	0	0	0	0 (-17)	20
非製造業	-56	-71	-67	-61	-39	-30 (-42)	-46
建設	-25	-50	-63	-37	-43	-43 (-50)	-64
卸・小売	-60	-67	-56	-67	-67	-37 (-56)	-37

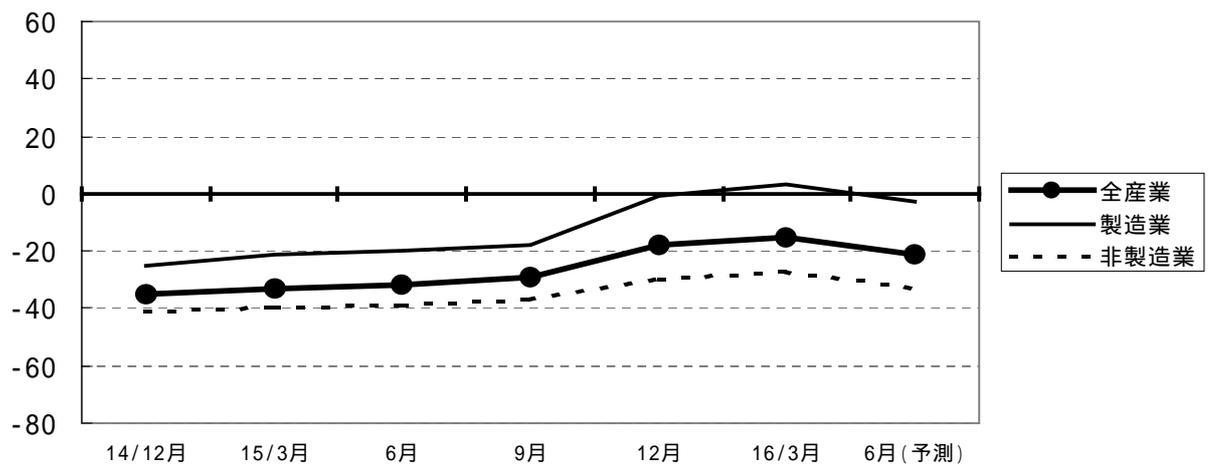
（注）今回調査（16/3 月調査時点）より調査対象企業の見直しを行い、これに伴って 15/12 月調査時点の計数を再集計している。

(業況判断 D.I. 岩手県 の推移)



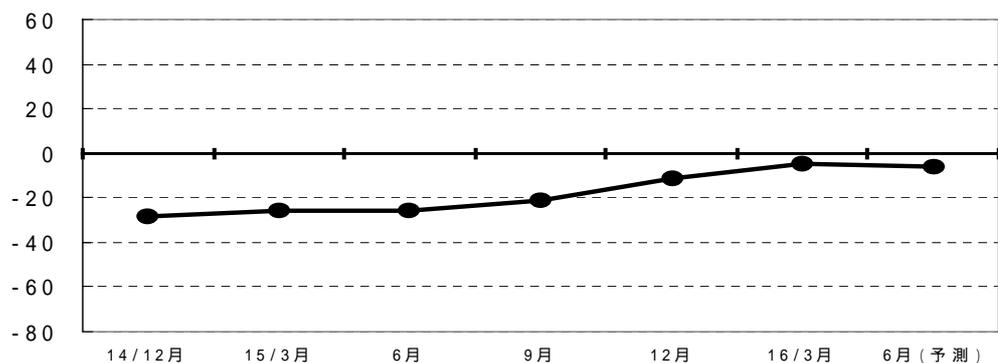
(参考1) 東北地区 6県 調査対象企業数 691社 (製造業 269社、非製造業 422社) 回答率 96.8%

	14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月(予測)
全産業	-35	-33	-32	-29	-18	-15 (-24)	-21
製造業	-25	-21	-20	-18	-1	3 (-6)	-3
非製造業	-41	-40	-39	-37	-30	-27 (-35)	-33



(参考2) 全国 調査対象企業数 10,562社、回答率 96.5%

	14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月(予測)
全産業	-28	-26	-26	-21	-11	-5 (-12)	-6



2. 売上高・収益（15年度実績見込み、16年度計画）

(1) 15年度実績見込み

売上高は、製造業が年度下期に回復したことから、全体では前年を小幅ながら上回り、また収益は、人件費圧縮等のリストラ効果を主因に前年度を2割方上回る増益となる見込み。業種別にみると、製造業では、需要好調な輸送機械、精密機械等加工業種を中心として増収増益となる一方、非製造業は、卸・小売業を主因に売上が減少するものの、収益では増益を確保する見込み。

(2) 16年度計画

全体として、売上はほぼ前年並みに留まるものの、収益は増益となる計画。業種別にみると、製造業が、引続き増収増益の計画となっている一方、非製造業では、売上は前年度に引続き減少するものの、増益を確保する計画。

(売上高)

上段:実額、億円 下段:前年同期比、%

	15年度実績見込み			16年度計画		
	計	上期	下期	計	上期	下期
全産業	6,071 1.1	3,017 -1.2	3,055 3.5	6,059 -0.2	3,035 0.6	3,024 -1.0
製造業	3,557 2.9	1,688 -2.5	1,869 8.3	3,614 1.6	1,751 3.7	1,864 -0.3
素材業種	104 2.4	48 2.8	55 2.1	110 5.8	52 6.6	58 5.1
加工業種	3,454 2.9	1,639 -2.6	1,814 8.5	3,505 1.5	1,699 3.6	1,806 -0.5
非製造業	2,514 -1.3	1,329 0.6	1,185 -3.3	2,445 -2.8	1,285 -3.3	1,160 -2.1
建設	1,266 0.3	727 2.9	539 -3.1	1,207 -4.6	685 -5.7	522 -3.2
卸・小売	978 -2.5	467 -1.1	512 -3.8	987 0.9	472 1.1	515 0.7

(収益 経常利益)

上段:実額、億円 下段:前年同期比、%

	15年度実績見込み			16年度計画		
	計	上期	下期	計	上期	下期
全産業	146 22.2	108 18.5	38 34.4	151 3.5	118 8.8	33 -11.9
製造業	103 25.1	42 -10.9	61 73.6	104 1.3	48 14.4	56 -7.8
素材業種	5 10.1	1 -62.3	4 124.6	6 15.8	3 125.4	4 -13.3
加工業種	97 26.1	41 -7.4	56 70.7	98 0.5	46 11.3	52 -7.4
非製造業	44 16.0	66 49.8	-23	47 8.6	70 5.3	-23
建設	34 40.9	61 63.5	-27	36 4.0	62 1.2	-26
卸・小売	7 -12.3	1 -25.0	6 -9.8	7 3.1	1 22.2	6 0.0

3. 設備投資額（15年度実績見込み、16年度計画）

(1) 15年度実績見込み（ソフトウェア投資を含む）

製造業において、電気機械や輸送用機械等における積極的な能力増強投資等が行われ、また非製造業では、建設業での一部大型投資を背景として、全体では前年度を2割強上回る見込み。

(2) 16年度計画（ソフトウェア投資を含む）

引続き、製造業において、電気機械、精密機械等が一段と積極的な設備投資を目論んでいることから、全体として前年度を4割弱上回る計画となっている。この間、非製造業では建設業の設備投資が一巡することから、前年度を下回る計画。

（設備投資額）

	設備投資額 (ソフトウェアを含む)		設備投資額 (ソフトウェアを除く)		ソフトウェア設備投資額	
	15年度 (実績見込み)	16年度 (計画)	15年度 (実績見込み)	16年度 (計画)	15年度 (実績見込み)	16年度 (計画)
全産業	180 24.3	247 37.3	177 25.0	238 34.8	3 -4.5	8 183.9
製造業	140 10.9	216 53.9	138 11.5	214 54.8	2 -14.2	2 1.3
素材業種	4 -10.8	5 9.2	4 -10.4	5 9.2	0 -100.0	0
加工業種	136 11.8	211 55.4	134 12.4	209 56.3	2 -13.6	2 1.3
非製造業	39 118.8	31 -22.1	39 120.0	24 -36.6	1 65.8	6 9.7倍
建設	23 172.5	5 -77.2	23 177.0	5 -77.8	1 60.6	1 -52.8
卸・小売	4 8.2	7 70.3	4 7.1	2 -60.3	2 3.0倍	5 84.0倍

なお、生産・営業設備判断をみると、非製造業において「過剰感」超が拡大している一方、製造業では先行きの不足を予測している。

（生産・営業用設備判断） 「過剰」 「不足」。回答社数構成比 %ポイント

	14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
全産業	21	18	16	7	4	11(2)	11
製造業	27	23	24	9	0	0(-4)	-13
非製造業	16	13	9	5	6	18(6)	27

4. 雇用人員判断

非製造業において「過剰」超が縮小する一方で、製造業では「過剰」超の後退テンポが一服していることから、全体では前回調査並みとなっている。

(判断 D.I 「過剰」 「不足」 回答社数構成比 %ポイント)

	14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
全産業	30	22	27	18	19	19(25)	26
製造業	18	4	19	9	4	8(12)	4
非製造業	40	38	33	26	30	27(33)	42

5. 製商品需給、製商品在庫、製商品価格、仕入価格判断 (全産業)

製商品需給判断では、供給過剰感が拡大している。

製商品在庫判断では、過大感が拡大している。

販売価格判断では、「下落」超が拡大している。

仕入価格判断では、「上昇」超が拡大している。

(判断 D.I 「回答社数構成比 %ポイント)

		14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超」 「供給超」	-45	-50	-46	-43	-31	-39 (-40)	-45
製商品在庫	「過大超」 「不足超」	15	16	11	8	4	11 ()	
販売価格	「上昇」 「下落」	-37	-34	-32	-27	-29	-36 (-31)	-43
仕入価格	「上昇」 「下落」	2	0	-7	-7	6	9 (-2)	14

6. 企業金融関連判断

資金繰り判断では、前回調査並みの窮屈感となっている。

金融機関の貸出態度判断では、「厳しい」超が縮小している。

借入金利水準判断では、「上昇」超が縮小している。

(判断 D.I 「回答社数構成比 %ポイント)

		14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
資金繰り	「楽」 「苦しい」	-34	-37	-33	-30	-22	-22 ()	
金融機関 貸出態度	「緩い」 「厳しい」	-28	-19	-15	-16	-14	-9 ()	
借入金利水準	「上昇」 「低下」	15	9	7	14	16	5 (26)	18

以上